

競 技 要 項

1. 試合方法・試合時間

- Round1 は全チームによる総当たり戦を行い、第2項に定める順位決定方法に従い順位を決定する。
- Round2 は Round1 上位5チームを Group-A、下位5チームを Group-B に振り分け、それぞれ総当たり戦を行い、第2項に定める順位決定方法に従い順位を決定する。なお、Round1 の勝ち点を持ち越す。
- Round2 Group-A 上位3チームによる決勝戦、代表決定戦を下記方式にて行う (Round3)。
 - ① 決勝戦 : Group-A 1位 vs 同2位
 - ② 代表決定戦: ①の敗者 vs Group-A 3位
- 試合時間は、次の通りとする。
 - Round1 : 正規 15分×3ピリオド、練習 5分間、休憩 3分間とする。
 - Round2 : 正規 15分×3ピリオド、練習 5分間、休憩 3分間とする。
 - Round3 : 正規 20分×3ピリオド、練習 7分間、休憩 10分間とする。
- Round3 については、第3ピリオド終了時に同点の場合、両チーム3名ずつによる PSS で勝敗を決定する。
- 各チーム1回のタイムアウトを取得できる。

2. 順位決定方法

勝ちを3点、引き分けを1点とし勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点が並んだ場合は、以下1)~8)の条件順で順位を決定する。

- 1) 勝ち数の多い順
- 2) 当該チームの対戦成績
- 3) 当該チーム同士の試合で得失点差の大なるもの
- 4) 当該チーム同士の得点の大なるもの
- 5) 全試合の得失点差の大なるもの
- 6) 全試合の得点の大なるもの
- 7) 昨年度のランキング上位であるもの

3. 競技規則

東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則(第4項)を除いて、原則として最新の国際競技規則による。

4. 補助規則

4-1) 棄権

試合を棄権するチームは、試合前日の17時までにはその理由を運営委員までメールにて entry@tihf-senior.com まで届ける事。その場合0:15不戦敗となる。ただし、大会要項のキャンセル規定に定められた試合費を負担する。

4-2) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合を没収試合とし不戦敗とする。

4-3) 同一年度内の移籍は、これを認めない。同一年度内に一旦他道府県連盟に登録した後、東京都連盟の再登録についても、これを認めない。

4-4) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。(発覚次第退場とする) 当該選手がポイント(ゴール・アシスト)をあげても無効となる。

当該選手がペナルティをおかした場合は代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。(背番号だけの間違いは発覚次第直ちに修正する事。ポイントは認められ、出場可能。)

4-5) 最少人数

試合の実施は試合開始時までにはゴールキーパー1名とプレーヤー5名若しくはプレーヤー6名、第2ピリオド開始までにゴールキーパー1名とプレーヤー5名をミニマムとし、それ未満の選手数のチームは棄権した

ものとみなし不戦敗とする。(ゴールキーパーが試合開始までにリンク上に居ない場合はプレーヤー6名で開始し、第2ピリオド開始時にリンク上に居なければ不戦敗とする。)

怪我やゲームアウト等で最低人数を下回った場合は、その時点で不戦敗とする。

また、両チームが人数不足の場合は、両チームとも-15点とし、両チーム不戦敗とする。

4-6) オンアイスオフィシャル

Roundにおいて、下表にしたがってレフェリー委員会より派遣する。

Round 1 (45 試合)	原則 4 人制
Round 2 Group-A (10 試合)	4 人制
Round 2 Group-B (10 試合)	3 人制
Round 3 (2 試合)	4 人制

4-7) オフアイスオフィシャル

当番チームは、オフアイスオフィシャルとして下表の役割を定められた人数(計10名)で務める。

役割	人数	担当チーム
オフィシャルリーダー	1名	原則として 当番2が担当
ペナルティーベンチアテンダント	2名	
ゴールジャッジ(ショットカウントを兼任)	2名	
ゲームスーパーバイザー	1名	原則として 当番1が担当
タイムキーパー	1名	
ペナルティタイムキーパー	1名	
アナウンサー	1名	
スコアキーパー(記録)	1名	

※オフィシャルを務める際の注意点

- ・ 集合時間は練習開始時間の20分前
- ・ 各当番チームの最低1名はチームに所属する選手・スタッフが務める。
- ・ 当番欠席により試合が行えなかった場合、または当番の人数不足が認められた場合・遅刻の場合は別に定める運営協力金を支払うこと。当番の欠席・人数不足・遅刻があった場合、その旨をメールにて届けること(アドレス: entry@tihf-senior.com)

4-8) チーム責任者

当該試合の「チーム責任者」をオールメンバー表に記入し提出すること。「チーム責任者」は監督・コーチリストに記載されている選手、スタッフのなかから、ユニフォームを着用しない者が務める。

4-9) ベンチ入り最低人数

ベンチ入りできる最大人数は28名とする。(選手:22名、スタッフ:6名)

4-10) 懲戒

ゲームミスコンダクトペナルティ以上のペナルティに関しては、連盟のガイドラインに沿って処分を科す。

4-11) つば吐き行為

リンク内ではつばを吐く行為を禁ずる。当該行為が認められた場合はゲームミスコンダクトペナルティを科し、連盟のガイドラインに沿って処分を科す。

4-12) ユニフォーム

ヘルメット・ユニフォーム・パンツ・ストッキングを統一すること。

(背ネームは姓のみ可、ニックネーム等は不可)

背ネームを隠す場合、同色系の布を縫い付け、試合中にはがれないようにすること。

また、ユニフォームにおけるCマーク・Aマークのビニールテープでの作成・貼り付けは禁止する。

グローブ、ヘルメット以外の用具は完全にユニフォームの下に着用する。ユニフォームはタイダウンストラップでパンツと密着させ、パンツから必ず出して着用する。

4-13) プロテクター

全選手が必ずマウスガード、およびバイザー（フルフェイスマスクを含む）、ネックガードを装着するものとする。

4-14) 22歳以下のプレーヤーのプロテクター

2004年1月1日以降に生まれた選手については、フルフェイス型フェイスガード（フルバイザーまたはケージ）、イヤークガードを着用するものとする。

4-15) ランニングタイム

7点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムについては、ランニングタイムで行う。ただし、次の場合は時計を一旦止める

- a)得点時（レフェリーが本部に報告し、電光掲示板入力を確認され次第直ちにスタートする）
- b)反則発生時（次のフェイスオフでパックがドロップ後スタートする）
- c)タイムアウト（アナウンスと同時に止め終了ブザーと同時にスタートする）
- d)レフェリーの指示があったとき（次のフェイスオフでスタートする）

5. 試合中の負傷

試合中に起こった傷病に関して応急処置は行うが、その後は各チームおよび個人の責任とする。
試合中に選手が負傷した場合は、当連盟所定の傷病報告書フォームに記載し、事務局宛てにメール送信する。

メール送信先 tihf@tihf.gr.jp

傷病報告書 <https://tihf.jp/doc?did=163652573700698700>

注意事項

代表者会議・オフィシャルの遅刻・欠席及び試合を棄権・未登録選手の出場及び連盟規約違反をした場合、社会人ペナルティ規程に基づき、運営協力金及び無期限試合出場停止迄の処分を科す。